

大明教育 実践の評価

◆30年度末の実践の評価を踏まえ、今年度の課題を明らかにする。

◆小中連携及び学校・家庭・地域の連携・協働の場を探る。

<評価方法について>

◇A-よい B-ふつう C-改善が必要 の3段階で評価

◇評価者の職種によっては評価できない項目もありますので、その場合は空欄にしないで斜め線を記入すること。

◇「気づいたこと」には、率直なご意見を記述してください。特にC評価については改善方法等を具体的に書くこと。

評価項目	評価		
	A	B	C
1. 教育目標について			
① 学校教育目標・指導重点は適切だったか。「自ら考え 活動する 心豊かな子ども」 (〇あいさつができる〇きまりが守れる〇すすんで学習できる〇思いやりがもてる)	2 1	4	0
② 学校教育目標が学年学級経営や教科指導に具現化されているか。	1 7	7	0
③ 学校教育目標や経営方針が児童や父母に理解されるよう配慮されているか。	1 5	5	0

(意見)

- ・家庭内でも「おはよう」「おやすみ」などのあいさつをしようと呼びかけていき、あいさつが日常化できるようにしていきたい。
- ・学校便りやホームページにより、保護者に伝わった。
- ・「大明小学校校長室から」の通信、ホームページなどから、保護者に具体的に理解されるよう働きかけている。

(考察)

- ・学校教育目標・指導重点は適切であると答えた教職員は80%を超えているが、それらが学年学級経営や教科指導に具現化されていると考える教職員は70%になっている。
- ・学校教育目標や経営方針が児童・保護者に理解されるよう配慮されているという設問は、A評価が75%。学校教育目標や経営方針が理解されるような配慮に一工夫が必要である。

(改善点)

- ・2学期以降学校教育目標や指導重点が児童や保護者に理解されるように学校便り、ホームページ更新はもちろんだが、毎日の授業、授業参観、各種行事、学年通信等で実行していく。

評価項目	評価		
	A	B	C
2. 経営・組織			
① 学校運営に関する連絡・調整はスムーズか。	2 1	4	0
② 職員会議は学校運営に適切に機能しているか。	2 2	3	0
③ 学年打ち合わせが十分できているか。	1 7	6	0
④ 研究主題は、学校課題に合った適切な内容であったか。	2 2	3	0

(意見)

- ・研究主題は、本校の子どもの課題に沿ったものであると考えているが、研究主任として、見直しをもった具体的内容が提案できておらず、申し訳なさを感じています。
- ・管理職の先生方が、良さを見つけてくださり良かった。(ホームページ更新・普段の声かけ・管理主事訪問後に良い所を印刷してくれたなど)
- ・放課後の時間がもっととれるとよい。研究会、会議、専門部の資料作りなどの仕事があり、学年打ち合わせの時間がなかなかとれない。(初任研もあるなど)

(考察)

- ・学校運営に関しての連絡・調整や職員会議については、おおむねスムーズで適切に機能していると考えられる教職員が多い。
- ・研究主題は本校の課題に適切なものであると考えている教職員がほとんどである。
- ・学年の打ち合わせについては、なかなか時間を生み出せていない現状である。

(改善点) 学年の打ち合わせが綿密にできるように会議等の運営の時間短縮を図る。職員会議・校内研等の資料を1週間前に配付し目を通してもらう事で、時間短縮をはかる。終礼等の時間短縮については、読んで伝わることはパソコン上の文書提案で引き続き行う。

評価項目	評価		
	A	B	C
3. 教育課程 (1) 全般			
① 教育課程に本校の特色は生かされているか。	18	7	0
(2) 各教科・総合的な学習の時間			
② 教科指導は、教材研究・事前の準備等を行い、わかる・楽しい授業に心がけたか。	16	6	0
③ 創意工夫のある授業実践を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育てることができたか。	12	10	0
④ 各教科の授業時数は確保できているか。	16	4	0
(3) 道徳			
⑤ 教科や他領域との関連に考慮がはらわれているか。	11	8	0
⑥ 道徳的実践・道徳性などが高められていると思うか。	9	9	0
(4) 特別活動(学級活動・児童会活動)			
⑦ 学級活動は、自主的・自発的に運営されたか	9	9	0
⑧ 児童会活動は、自主的・自発的に運営されたか。	18	2	0
(5) 学校行事			
⑨ 学校行事は適切に計画的に実施されているか。	19	4	0
⑩ 学校行事は、学校生活に活力を与えるよう計画運営されているか。	21	4	0

(意見)

- ・家庭訪問は、持ち上がりの場合、希望制で良いのではないのでしょうか。(検討が必要)

(考察)

- ・教育課程に本校の特色が生かされているかについては、30%の職員がまだまだだと答えている。授業時数はおおむね確保できていると考えられる。
- ・教科指導については、事前の教材研究・事前準備はよいが児童が自ら学ぶ意欲や態度を育てているかについて

はB評価が多い。教材研究に費やす時間が確保できない現状があるためと思われる。

- ・ 道徳については、他の教科や領域との関連、児童の道徳性が高められているかと設問にはB評価が多い。
- ・ 特別活動の学級活動では、まだまだ自主的・自発的に運営ができていない状況があるが、児童会活動については、しっかりとした自己運営ができています。

(改善点)

- ・ 道徳科は2年目を迎えるが、「考え議論する道徳」に向けた授業づくりをさらに意識して進めていく。また、道徳と他の教科・領域の関連を意識しての授業を行っていく。
- ・ 自ら学ぶ意欲と態度を育てることができたかについては、学校全体で話し合い、創意工夫のある授業が行える基盤を作っていく（全職員の共通認識・教材研究のための時間確保）。
- ・ 自ら学ぶ意欲を育むため、「学びの質を高める授業づくり推進事業」を通して、校内研究で授業づくりに取り組んでいく。
- ・ 特別活動の学級活動については、これからも引き続き児童が自発的に運営できる場を増やしていく。

評 価 項 目	評 価		
	A	B	C
4. 学級経営・生徒指導			
① 児童との心のふれあいを深め、豊かな人間関係を築く学級づくりに取り組めたか。	17	1	0
② 職員が共通理解をもち生徒指導を推進しているか。	21	3	1
③ 支援委員会を中心とした支援は適切に行われたか。	22	3	0

(意見)

- ・ スクールカウンセラーの存在が大きかったです。アプローチをしていますが、親のカウンセリングがもう少しできると良い。(仕事をしているので大変ですが)
- ・ 日々の情報交換や全職員での児童の情報交換が適切に行われ、共通理解のもと指導ができ、効果をあげていると思う。
- ・ 生活や授業でのルールが学年・学級で様々なので、全校統一したものとよい。(例) はじめの礼の仕方・挙手の仕方・話の聞き方・発言の時の返事の仕方・終わりの礼まで。
- ・ 今年は大きな生徒指導上の問題がない。担任の先生方が常に児童に寄り添い、きめ細かな指導をしている結果だと思う。

(考察)

- ・ 生徒指導上の問題については、共通理解が図れるように情報交換を常に行っている。また、支援が必要な児童に対してもコーディネーターを中心に情報交換を密にしている結果が表れている。

(改善策)

- ・ 気になる子への対応は担任だけでなく、学校全体による「チーム」で対応していく必要がある。そのための情報交換の時間は必要であるので、その時間を捻出し全職員が主体的に関われる体制をこれからもつくっていく。

評価項目	評価		
	A	B	C
5. 家庭・地域社会との連携			
① 授業参観・懇談会は適切だったか。(回数・内容・出席率)	19	3	1
② P T A活動は目標達成のため計画的に展開されているか。	21	2	0
③ 児童の登下校時において安全が確保されているか。	19	4	0
④ 学校応援団を有効に活用できたか。	17	5	0

(意見)

- ・学校開放日は午前のみか午後のみにしたらどうか。教員の負担が多いため。
- ・停電になった時、職員が下校指導に即対応したことを保護者も感謝していた。
- ・登下校時に道に広がり危険だと感じる。(上級生が他班の子と話しながら帰るため広がってしまうこともある。)時々、地区の拠点に抜き打ちで街頭指導しても良いのではないか。

(考察)

- ・授業参観・懇談会は適切であったと答える教職員が多い。また、P T A活動も計画的に展開されていると考える教職員が多い。
- ・児童の登下校についても安全が確保されていると答える教職員が多い。
- ・学校応援団の活用については、もう少し活用したほうが良いという答えがある。

(改善点)

- ・学校開放日の回数・時間設定は教職員の考え方・保護者・地域の共通理解を図ったうえで、どのようにするかを話し合い実行していく。教職員の負担軽減を図っていくことが、良い授業・良い学級経営に繋がっていく。
- ・集団登校指導・下校指導をさらに徹底していく。
- ・学校応援団については、どんな場面やどの授業になど、具体的な要望を出してもらい活用を図っていく。

評価項目	評価		
	A	B	C
6. その他			
① 子どもたちは、あいさつができていたか。	4	20	1
② 給食中のすごし方やマナーに問題はないか。	11	13	0
③ 清掃指導にしっかり取り組めたか。	16	7	0
④ 読書意欲を高めるような指導ができていたか。	16	8	0
⑤ 保健指導がしっかりできていたか。	17	6	0

(意見)

- ・玄関前ではしっかりできているが、階段や廊下では、あいさつができていないように感じる。玄関前以外でのあいさつの取り組みを考えてはどうか。
- ・学校で「薬を飲ませてほしい時」承諾書が必要な旨を4月のP T A総会の資料に入れてほしい。林間学校等宿泊行事の直前の申し入れに苦慮した。
- ・あいさつをしても返さない児童がいる。
- ・食事のマナー(はしの使い方・食器の置き方など)を引き続き指導していきたい。
- ・あいさつ運動などの取り組みでは、よくできていたが、普段の様子や個々をみるともう少しというところがある。

る。

- ・清掃はよくやっていると思うが、もう少し無言清掃ができるとよい。
- ・玄関前でのあいさつはよくできているが、それ以外はできていない子がけっこういる。皆で共通の行動であいさつを徹底したい。
- ・特別館の清掃では、進んで働く児童が多く感心しています。また、職員玄関の4年生、職員室前の6年生は、ただ清掃をするのではなく、「どうすれば気持ちよく使ってもらえるのか」を考えて清掃していて、教師である自分の方が何も考えずやっていると反省させられます。

(考察)

- ・あいさつは、玄関では良くできているが、日常のあいさつがまだまだであるという答えが多い。いつでもあいさつを自分から行える子が増えることが望ましい。
- ・給食中の過ごし方やマナーは、ふつうと回答した教職員が多い。給食時のマナーがまだ身につけていない傾向がある。
- ・清掃指導・読書指導・保健指導については、おおむね良いとなっている。

(改善点)

- ・いつでもどこでも自分から進んで気持ちのよいあいさつができるように全校体制で指導を工夫していく。
- ・給食主任を中心に食事のマナーを含む給食指導を継続的に取り組めるよう計画・実行していく。
- ・清掃についてもこれからも子弟同伴で環境美化に取り組んでいく。